

〈解答〉

- ① 1 ①：乾燥 ②：アボリジニ〔アボリジニー〕（両解）
2 ア
3 エ
4 イ
5 水力：ウ 原子力：ア（両解）

配点 各2点 10点満点

〈解説〉

- ① 1 Aはオーストラリア大陸で、年降水量500mm未満の地域が大陸全体の約3分の2を占めている。とくに内陸では降水量がきわめて少なく、ほとんどの地域が乾燥した草原や砂漠となっているので、人口のほとんどは、比較的降水量が多く農業の盛んな南東部や南西部に集中している。オーストラリアの先住民のアボリジニは、現在では、多文化社会の大切な一員として、彼らの社会的・経済的地位の向上や、独自の伝統文化を尊重するための努力が続けられている。
- 2 ウェリントンとロンドンの経度差は180度である。経度差15度で1時間の時差が生じるので、ウェリントンとロンドンの時差は、 $180\text{度} \div 15\text{度} = 12\text{時間}$ である。一日は日付変更線の西から始まるので、ロンドンがウェリントンよりも12時間遅い時刻になる。
- 3 Xはアルプス山脈、Yはヒマラヤ山脈である。世界の造山帯には、アルプス山脈、ヒマラヤ山脈、インドネシアへと続くアルプス・ヒマラヤ造山帯と、アンデス山脈、ロッキー山脈、日本列島、ニュージーランドなど、太平洋を取り囲むように連なっている環太平洋造山帯の二つがある。造山帯では、土地が盛り上がりたり、沈んだりすることが活発におこる。
- 4 Dはアルゼンチンで、小麦とうもろこしの自給率が高いイ、Bはカナダで米の自給率が0のエ、Cはブラジルで大豆の自給率が高いア、日本は2表の農産物の自給率がすべて100%に満たないウである。特に、日本は米の自給率が高いが、小麦・とうもろこし・大豆の自給率が低いことから判断できる。
- 5 Bはカナダ、Cはブラジル、Eはフランスである。カナダ、ブラジルで割合が高いウが水力、フランスで割合が高いアが原子力である。日本で割合が高いイは火力、4か国とも割合が低いエは地熱・新エネルギーである。